

9月 定例教育委員会会議録

- | | | |
|---|------|--|
| 1 | 日 時 | 令和4年9月28日（水） 午後5時30分から午後6時30分まで |
| 2 | 会 場 | 磐田市役所 西庁舎3階 特別会議室 |
| 3 | 出席者 | 山本敏治教育長
秋元富敏委員、鈴木好美委員、大橋弘和委員、阿部麻衣子委員 |
| 4 | 出席職員 | 藺田欣也教育部長、鈴木智也教育総務課長、内藤弘隆学府一体校推進室長、
大石修次放課後児童支援室長、水野康代学校給食課長、小沼裕樹学校教育課長、
岡本由紀子中央図書館長、竹内直文文化財課長、
伊藤豪紀地域づくり応援課長補佐、伊東直久幼稚園保育園課長
(傍聴人：0人) |

(進行委員：大橋弘和委員)

1 開会

災害対応ということで、急きょ定例教育委員会を本日開催させていただくことになりましたが、ご出席いただき、ありがとうございます。よろしくお願ひします。

2 教育長あいさつ・教育長報告

日中はまだまだ暑い日が続いていますが、朝晩は過ごしやすくなってきました。コロナ禍でここ2年間見合せてきたお祭りも、例年通りとはいかないまでも、感染対策を講じながら実施、もしくは実施の方向で計画をされていると伺っています。2年間のお祭りの中止により、文化の伝承や地域のつながりの醸成等の心配の声を伺っていましたので、今後の文化の継承、地域づくり等につながっていただけたらと思います。

さて、ここ2週間で、台風14号、15号が立て続けに襲来しました。特に、台風15号においては、台風周辺の暖かく湿った空気が流れ込み、記録的短時間大雨情報が出されるなど、猛烈な雨に見舞われ、磐田市内でも甚大な被害を受けました。被害の状況としては、河川決壊・越水等による床上・床下浸水、車両の水没、土砂崩れや冠水等による情報の通行止めなどがありました。被害を受けられた市民の皆様にご心よりお見舞い申し上げます。教育委員会関係では、豊岡北小学校の校舎及び体育館が床上浸水、豊岡中学校の体育館が同じく床上浸水となり、復旧作業が必要となりました。被災後の9月24日土曜日から25日日曜日には、多くの皆様のご協力により、復旧作業を進めることができました。特に、校舎まで被害を受けた豊岡小学校では、教職員を初め、保護者の皆様や在校生、さらには卒業生の中学生・高校生までも駆けつけてくださり、その一人一人の皆様のおかげで、学校再開にたどり着くことができました。私たち教育委員会職員も微力ながらお手伝いをさせていただいたのですが、暑い中でしたが、学校再開に向け、心を一つにしてひたむきに作業してくださっている皆様の様子を見させていただき、心が熱くなりました。私たちの学校、地域の中の学校を何とかしなければならぬという気持ちがひしひしと伝わってきました。そのおかげをもちまして、豊岡中学校は休校することなく9月26日から、豊岡北小学校については、2日間の休校を挟み、9月28日から教育活動を始めることができました。ご尽力をいただいたすべての皆様方に心より感謝申し上げます。

現在、市役所では、道路上の土砂撤去や災害ごみの処理、ボランティアの受付、罹災証明の発行など、復旧に向けた取組を最優先で行っています。その関係で、議会日程等も含め、当初予定された諸会合の計画を急きょ変更せざるを得ない状況となり、この定例教育委員会も本日の開催とさせていただきます。ご理解いただければ幸いです。

市内には多くの被災者の方がいらっしゃいます。児童生徒の中にも、床上浸水で避難を余儀なくされた子ども、甚大な被害を目の当たりにした子どもなど、大きなショックを受けた子どもたちがいます。被災された市民の皆様や児童生徒の気持ちに寄り添いながら、各種事業等を進めていきたいと思っております。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

3 前回の議事録の承認

8月30日定例会に関して

- ・修正の意見なし
- ・原案のとおり承認

4 教育部長報告

○私からは、台風15号による被害状況の報告をします。施設関係については、給食センターや学校調理場のほか、図書館や文化財には大きな被害はありませんでしたが、学校では豊岡北小学校の体育館と校舎1階が床上60cmの浸水、豊岡中学校の体育館に床上3cmの浸水被害がありました。豊岡中は体育館を除き月曜日に再開できましたが、豊岡中の体育館と被害の大きかった豊岡北小は汚泥の清掃と消毒作業に時間がかかり、本日再開しました。豊岡北小学校の児童クラブについては、再開日を学校再開日と合わせましたが、1か月程度の復旧作業が必要なことから、当分の間、豊岡北小の図書室等を利用することとしました。なお、被災した家庭及び学校に置いておいて被害にあった児童生徒の教科書や鍵盤ハーモニカや道具箱などの学用品は、災害救助法により支援の対象となります。通学路については、平松地区の一部道路が通行止めになっていることから、今週は保護者の送迎で対応し、来週からは迂回路を指定してそちらの利用をすることとしています。迂回路の安全確保は、教員による事前の点検確認により、こどもへの指導を徹底するとともに、車に対しては迂回表示をするなどして対応します。本来の通学路は法面の補強がされないと危険なことから、当分の間は迂回路を利用することとなる見込みです。

また、現在開会中の9月議会は、台風被害の復旧対応のため、今週月曜日の26日に予定されていた民生教育分科会が、一旦は明日29日に延期されましたが、再度延期され、現在のところ、補正予算審査は10月5日に採決をおこなう予定で日程を調整中です。台風前の会期においては、決算に係る本会議での部長質疑と一般質問が行われました。質疑では5人の議員から20問の質問が出されました。一般質問は12人の議員から質問があり、そのうち6人が教育委員会関係の質問をしました。新教育長就任後初めての議会ということもあり、教育長の所信に関する質問などがありました。質問と回答の概要は、配布した資料のとおりですので後ほどご確認ください。

5 議事

・議案第40号 学校医の委嘱等について

○竜洋東小学校、竜洋中学校の学校医である森下医院の転院に伴い、みらいメディカルクリニック磐田の松本様に学校医を依頼するものです。

<質疑・意見>

なし

<議案の承認>

一同同意

審議の結果、議案第40号は原案どおり承認された。

・議案第41号 磐田市指定有形文化財の指定について

○今回2点の有形文化財の指定を行います。1点目は成瀬家文書です。見付の成瀬家から寄贈された古文書です。成瀬家は、今川時代から見付の民衆の代表者として大きな力を持っていました。徳川の時代になってもその権力を引き継ぎ、見付の宿場の運営に大きく寄与していたことを裏付ける古文書が貴重です。今回指定したのは明治前期までの古文書としました。2点目は、新豊院山古墳群の出土資料です。新豊院山古墳群は国史跡に指定されていて、主に新豊院山2号墳から出土した土器や三角縁神獣鏡、銅鏃・鉄鏃などが指定となります。全体的に弥生時代から古墳時代にかけての墓の制度の移り変わりを示す資料ということで大きな価値があります。いずれも8月30日に開催しました第1回の文化財保護審議会において、答申を受けているものです。

<質疑・意見>

■古文書は2,000点近くあり、その分別が大変だったと思います。

□文化財保護審議会委員からは、戸長や村役場の要職など、明治時代のある程度法的な役職に就いていた時期までが貴重であり、その役職に就いていた方が亡くなるまでと区切った方が分かりやすいという意見がありました。その時期までの古文書の数2,000点近くとなりました。

<議案の承認>

一同同意

審議の結果、議案第41号は原案どおり承認された。

・議案第42号 磐田市文化財保護審議会臨時委員の委嘱について

○今回、旧見付学校附磐田文庫の保存活用計画を作成するにあたり、協議会の構成員となってもらうために文化財保護審議会臨時委員を委嘱します。これは文化財保護法に基づく計画ということで、文化庁から協議会で審議することを指導されています。臨時委員は、教育史に関する専門家と、旧見付学校の運営を地域で支援してくれている方たちで構成しています。

<質疑・意見>

なし

<議案の承認>

一同同意

審議の結果、議案第42号は原案どおり承認された。

6 報告事項

(1) 地域づくり応援課

○9月17日に30代の人を対象として趣味やビジネスで繋がるイベントを開催しました。コロナ禍により飲食をしながら交流を深めることができないため、趣味やビジネスという共通キーワードにより交流を図ろうということで、今回初めて開催しました。あと、今年度の成人式ですが、1月8日の日曜日に開催する予定です。今まで分散型で行っていましたが、今回はかたりあのホールで行います。成人年齢が18歳に引き下がりましたが、式典は20歳の方を対象に行います。収容人数の制限があるため、2部制で行います。この内容はすでにホームページに掲載しており、10月の市長定例記者会見でも報告します。

<質疑・意見>

■「趣味やビジネスでつながる30s祭」の参加人数や男女比を教えてください。

□100名の申込みがあり、8つの趣味のジャンルに分けて行いました。各ジャンルともちょうど男女比が5対5くらいとなり、年齢層も30歳から40歳までうまく配分されていました。アンケート結果もたいへん好評でした。

■8つの趣味のジャンルはどういう内容ですか。また、この事業は繋がっていきそうですか。

□ジャンルは、インドア、アウトドア、文化芸術、スポーツ、動物、植物、食、美容健康です。一番多かったのは文化芸術で、次が食、スポーツという順でした。その会場で同じ趣味同士の人たちがLINEグループを作っていました。私もそのグループに入れてもらったのですが、イベント後も毎日色々な会話や熱い趣味の話題が飛び交っていました。

■教育委員は成人式へ出席させてもらえますか。また、式典はどんな内容を考えていますか。

□出席をお願いします。案内通知を発送します。式典は、午前中に2部、各1時間弱を想定していて、集合写真の撮影や母校へのメッセージカードの作成など、内容を検討しているところです。

(2) 幼稚園保育課

○2点ほど報告があります。まず1点目は台風被害に関することです。ほとんどの幼稚園・保育園・こども園は、床上・床下浸水もなく、園の運営に支障はありませんでしたが、いずみ第二保育園だけは、床上浸水が道路高で1mぐらいの被害を受けました。いずみ保育園の職員と本課職員たちが復旧作業を行い、明後日に全面復旧の見込みとなっています。2点目について、全国的なニュースとなった牧之原市の園児バス取り残しの事件を受け、事件発生日の翌日の午前9時過ぎに、公立・私立合わせた全園に注意喚起の一報を入れました。その後、バスを運用している公立3園、私立3園に聞き取り調査とアンケートを行い、マニュアルのチェックとドライバー及び職員に話を聞く形で立入り調査を行いました。その結果、どの園も適正に行われていることを確認しましたが、改めて子どもの命を守っていくというところを強く認識するよう指導しました。また県の方でも視察に入りたいと打診がありましたが、視察地区等詳細は未定です。

<質疑・意見>

なし

(3) 教育総務課

○9月に向陽学府かわら版を向陽3地区に全戸配布しました。併せて向陽学府小中学校全児童・全生徒にも配布し、ホームページにも掲載しました。かわら版は、7月の定例教育委員会で説明した向陽学府小中一体校整備基本設計の概要を載せてあります。また、このたび向陽学府小中一体校開校準備委員会を設置しました。学校名、校章・校歌、通学路、PTAの組織運営、式典行事などに関することを協議します。建設検討会のメンバーに引き続き委員をお願いし、地区代表は地区長のみとしました。10月31日に第1回委員会を開催する予定です。

<質疑・意見>

■向陽学府小中一体校の開校準備ということですが、廃校舎の活用方法などについて、地区ごとの検討状況は、どういう形で進んでいるのでしょうか。

□跡地利用について、閉校した段階で建物が学校用途ではなくなるため、用途廃止になった後、市長部局、資産経営課の方で活用方法を検討していくことになります。今後地区要望等をまとめ、さらに一体校の方からも跡地利用について検討を依頼していきます。

(4) 学校給食課

<質疑・意見>

なし

(5) 学校教育課

○先ず、令和4年度全国学力学習状況調査の結果について報告します。小学校・中学校の国語、算数・数学、理科の全教科において、概ね県や国の平均正答数を超え、一定の成果を上げています。各教科の詳細な分析や今後の対策については、磐田市で組織する学力向上委員会にて検討を進め、10月中旬に各校へお知らせしていく予定です。続いて、今後の休日の部活動についてです。本市では、部活動は人間教育であるという理念のもと、休日の部活動の地域移行を考えています。現在、令和5年9月のモデル事業開始に向けて準備を進めています。そこで、9月に保護者に向けて、休日の部活動の地域移行に関する概要をお知らせし、アンケートを実施しました。このアンケート回答をもとに、子ども・保護者のニーズを把握して、子ども第一で事業を進めていきます。

<質疑・意見>

■学力調査の件ですが、ここ5年間のトレンド、例えば国語で文章力に問題があるなどとコメントに上がることがありますが、この問題に対してどういう改善をされているのか、教育施策や方針へ反映させているのか、またそういう施策の結果、どのように改善されたのかなどをお聞きしたいです。

□毎年、表現力等の課題はあります。これに対し、各学校の研修主任が集まる学力向上委員会において、どこに視点を置いて授業を行って課題を克服させるかを話し合い、教員たちに実践させているので、ある程度平均正答数を超え、一定の成果が出ていると考えています。

■民間企業では、トレンド分析を何年もかけて行っています。課題が見つかったときにコメントを残し、それに対して今年度はその方向でできていたかどうかということを毎回繰り返す。何年か経って見返すと、やってきたことがよく分かって課題の本質と対策が見えてくると思います。

次に、休日部活動についてです。保護者たちに概要を発信されたそうですが、モデル種目など、今後どういったスケジュールで進んでいくのでしょうか。島田市の中学校では、来年度から完全に部活動を地域移行するという事で動いているそうです。

□まずは子どもたちと保護者のニーズ、それから受け入れていただく素地ということで、各競技団体等と協議しながら、良ければ年内に決まってくると考えています。

■アンケートの対象は小学6年生だけですか。

□アンケートは、中学1年、中学2年、小学6年生を対象としました。中学生が現在入っている部活動、小学生が中学校で入ってみたい部活動、両者が地域移行した場合、それに興味があるか、どんな種目に入ってみたいかというアンケート内容です。

□現在学校部活に無いような活動を希望している子があれば、その可能性も探っていきたいと考えています。生涯スポーツ、生涯文化活動に繋がるような移行ができるといいということで今動いています。

(6) 中央図書館

○現在、図書館システムの更新に伴って臨時休館しています。10月1日から新しいシステムへ移行し、セルフ貸出機の導入や利用者カードのバーコードのスマホ表示、公式LINEアカウントが始まります。新しい機能が増え、スマートに利用できる図書館に生まれ変わっていくと思います。それから予定事業ですが、好評だった福田図書館20周年記念事業のハッピー福福Dayの第2弾を行います。

<質疑・意見>

■磐田北保育園で行われる出張お話し会は、どんなことをやられているのですか。

□読み聞かせボランティアの修了生などが、申込みがあった場合に読み聞かせへ行っています。年齢に合わせて色々な本を選んでくれています。

(7) 文化財課

○台風被害についてですが、豊岡北小学校、豊岡中学校の両校の校長室が浸水し、部屋にあった学校沿革史などの重要文書の一部が水に浸かったと報告を受けました。これを受け、昨日歴史文書館の職員が被災状況を確認し、国立公文書館の指導に沿って簡易な修復作業を行うことにしました。

<質疑・意見>

■修復の作業は、どの程度の手間がかかるのですか。また、どのように行うのですか。

□泥がついて乾燥してしまっている状態の修復は初めてのことなので、どのくらいの日数がかかるかわかりません。洗浄後に和紙の裏打ち修復作業を行って元の状態に戻します。

■今回被災したということで、保管場所を変えることを考えていますか。

□校長室の奥の鉄庫に保管してありましたが、今後学校と協議して、保管場所について検討していきます。

■実施済主要事業の中で教員研修とありますが、どのような内容ですか。また、対象の先生はどのような人たちですか。

□埋蔵文化財センター、旧見付学校、旧赤松家で受付事務の体験をしたり、埋蔵文化財センターで土器の洗浄作業などをやってもらったりします。初任者3年目の先生を対象にしています。

7 協議事項

・令和5年度の学校教育及び社会教育に関する一般方針等について

○学校教育及び社会教育に関する一般方針についてのリーフレットについては、各年度の教育委員会の目標、方針、施策を取りまとめた上、教育長、教育委員からのメッセージとともに、一般に周知するために作成しています。教育に関する基本的な方針については、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の規定により、教育委員会が定めるものとされているため、この時期に来年度の教育委員会の目標や方針について、委員の皆様からご意見を伺っています。教育委員会の目標については、平成22年度から現在の形としているものです。また方針についても平成28年度から継続しています。各施策については、方針決定後に関係課で予算を含めた具体的な内容を検討していくこととなります。今回は、令和5年度の目標と方針についてご検討いただき、また再度協議していただくこととなります。次年度に対するキーワードなどを踏まえて、委員の皆様のご意見をお伺いしたいと思います。なお、昨年度は、方針の箇所「地域力」と「自己肯定感」とあった表現を「地域ぐるみ」と「子どもの成長を支える」という表現に変えています。また方針3の説明の部分で、「豊富な語彙により」という表現を加えています。今日この場で何か決定していただくことはありません。次回以降、また協議の場がありますので、その間にお気づきのことがあれば、メールなどでご意見として出していただければと思います。

<質疑・意見>

■教育長の思いをぜひ盛り込んでほしいと思います。細かなところですが、方針3の施策1に特別教室等へのエアコン整備とありますが、特別教室とは何ですか。

□理科室など通常授業を行う部屋以外の箇所となります。

■磐田市教育委員会の目標である「ふるさとを愛し、未来をひらく、こころ心豊かな磐田市民」はすごく良い言葉で、これはそのまま継続すべきだと思います。前市長の時から言われていた「たくましい磐田人を育てる」ということに集約されていると思います。その中で「生きる力を育む」、「地域力を活用する」、「学びやすい場の環境を整える」ということになりますが、一つ気になっているのは、「地域力をさらに活用する」ということより、「地域と一体となって取り組む」というような表現の方が良いのではないかと思います。地域の方がもっと前面に出て来て一緒に行くことが、先ほどの休日の部活などへ繋がってくるのだと思います。それから、各施策の内容も、もう一步踏み込んだ表現にした方がいいと感じています。方針1と方針2はソフト面、方針3がハード面の取組みとなるのですが、「たくましい磐田人を育てる」、「生きる力を育む」という内容にもっと即した施策を考えた方が良くと思います。体験学習もすごく良いことだと思っています。職業体験、未来授業や出前講座など、色々なことをやっていますが、子どもたちに体験させて、学力だけじゃなく、その中で得たことに繋がって生きる力が育まれるのだと思います。それから、方針2は施策3までとなっていますが、その下に休日部活動について載せたらどうかと思います。こういうところに地域の方を巻き込んで、一緒になって子どもたちの部活の一番良いあり方を支援していくことが望ましいと思います。あと、方針3の学びの場などの環境の整備ですが、図書館、文化財課、生涯学習など、磐田市がすごく力を入れてやっている内容だと思いますが、もっとその辺を強く訴えた方が良くと思います。たくましい磐田人と生きる力を育むという中での課題は、学校へ行けなくなったり、学校へ行くのに時間がかかってしまったりする子たちをどうするかだと思います。生涯学習という括りの中で、リカレント教育などの言葉が使われていますが、例えば夜間中学磐田など先行してやろうとしたり、静岡産業大学と一緒に公開講座を磐田市教育委員会のバックアップで行ったり、そういう学び直しというか、それは社会教育になってしまうのかもしれませんが、何かそういう繋がりの中で「ふるさとを愛し、未来をひらく、心豊かな磐田市民」が育っていくのではないかと思います。そういう意味で、探知力というか、踏み込んだ表現を用いていけば、しっかりやっているというような印象を得るのではないかと思います。

□今までやってきた取り組みをもう少し強く打ち出して、強めな表現を用いた文言にした方がと良いということですね。

■休日部活動は、どこかで入れた方が良くと思います。

□誰に対するメッセージなのか、配付先を踏まえ、相手意識を持って作った方が良くと思います。

■最近学校へ行くと、支援員の方がたいへん頑張っている姿を拝見します。地域力の活用というところにも繋がると思うので、盛り込んだらどうかと思います。

□地域力は磐田の強みだと思うので、そこを前面に出していきたいと思います。学校の中だけでは学べないところも反映できたらと良くと思います。

■図書館のところにボランティアとありますが、学校のボランティアの方など地域の力というものをもっと表現できないのかなと思います。総合教育会議の中でも「繋がり」ということを強調していましたが、そういう表現を使った方が良くと思います。

■施策の中のコミュニティスクールの中には、地域の力やつながりということが入ってくるのですか。コミュニティスクールと言っても、保護者などは何なのか想像しにくいと思います。受け手側にわかりやすい言葉を用いないと、良い言葉であっても伝わらないと思います。

■今後のスケジュールはどうなっていますか。

□4月初旬に配付となります。例年ですと1月ぐらいにはある程度形になっています。このリーフレットの内容は、次年度の磐田の教育の冊子に反映させることとなります。本日もご意見をいただいたキーワードなどを取り込めるような案ができれば、一度提示させていただきます。パンチ力のある表現ができるかということもありますが、まず目標自体をどうするかということが大きくて、方針自体

の説明については、それに付随した施策を段階的に変えていくことになると思います。

■教育委員になる前から教育大綱、磐田の道しるべの言葉に感動していて、こんなことを言ってくれる人が教育委員会にいて、教育のことを考えているのか、磐田市っていいなと思いました。だからこの2つの根本は動かさないでほしい。

□とりあえず次回までに、少し方針を整理しておきます。委員の皆様のご意見を盛り込めるところ、うまく表現ができるのであれば、次回お出しして見ていただきます。年内を目途に固められれば良いと思います。

■学校の現場から見てどうでしょうか。

□「たくましい」という表現は、昔のたくましさではなくて、しなやかなたくましさという理解が良いと思います。壁に当たったら回り込んでも良いし、ときには逃げて良いというような、そこが判断できなくて学校から遠ざかる子が多いのかなと思います。

■不登校の子が年々増えているのを見ると、しなやかなたくましさやレジリエンスなど、そういうところの力が必要だと感じます。

8 その他

9 次回教育委員会の日程確認

・定例教育委員会

日時：令和4年10月27日（木）午後5時30分から

会場：市役所西庁舎3階 特別会議室

10 閉会